



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 マルコ株式会社

コード番号 9980 URL <http://www.maruko.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 眞二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長兼経理部長 (氏名) 巻田 眞一郎 TEL 06-6455-1205

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	10,528	13.5	393	ー	341	ー	505	ー
29年3月期第3四半期	9,277	△0.1	△617	ー	△571	ー	△361	ー

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 622百万円 (ー%) 29年3月期第3四半期 △203百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	5.42	ー
29年3月期第3四半期	△5.44	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	18,275	14,896	81.5
29年3月期	11,572	8,094	69.9

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 14,896百万円 29年3月期 8,094百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
30年3月期	ー	0.00	ー	ー	ー
30年3月期(予想)	ー	ー	ー	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	11.9	1,200	785.9	1,300	917.5	1,100	310.2	11.55

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 平成30年3月期の連結業績予想の1株当たり当期純利益は、公募増資(13,932,300株)、自己株式の処分(1,567,700株)及びオーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資(315,700株)を含めた予定期中平均株式数により算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	101,295,071株	29年3月期	87,047,071株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	69株	29年3月期	1,567,734株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	93,268,755株	29年3月期3Q	66,479,390株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	8
仕入及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の国内景気は、企業収益の改善、設備投資の持ち直しが持続する中、雇用環境の継続的な改善により、個人消費も緩やかな回復が見られるなど、総じて回復基調の中で推移いたしました。

一方、賃金の伸び悩みや社会保険料の負担増加など将来への不安を背景とした節約志向が依然として続いており、消費者ニーズの変化への対応がこれまで以上に求められております。

このような環境の中、当社グループにおきましては、『Maruko Reborn Project』を掲げ、徹底したコストの見直しによる“収益力の強化”、テレビやWebなどメディアを活用した新規顧客へのアプローチなどによる“集客力の向上”、新たな製商品・サービスの拡充および新たな販売方法の提供等による“購入機会の拡大”、店舗及び人員の拡充による“販売力の強化”など、成長基盤の構築に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間においては、徹底したコスト改善や新商品の開発、提供を進める中、購入特典や割引などによる販売促進施策の拡充、テレビコマーシャルなどを活用した新たな集客体制の構築を推進いたしました結果、既存顧客のアクティブ数及び新規顧客数ともに増加いたしました。

さらに、当社の顧客基盤と営業網を活用し、RIZAPグループ(株)より同社グループ企業及びサービスへの送客支援業務を受託いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は105億28百万円（前年同期比13.5%増）となりました。

利益面におきましては、テレビコマーシャルやインフォマーシャルの放送費用などにより広告宣伝費が前年に比べ増加したものの、店舗統合などによる店舗運営効率の改善など経費全般の見直しを徹底して推進したことにより売上増収効果と合わせた結果、営業利益は3億93百万円（前年同期は6億17百万円の営業損失、10億10百万円の改善）、経常利益は3億41百万円（前年同期は5億71百万円の経常損失、9億13百万円の改善）となり、第3四半期累計期間としては、決算期変更前の平成24年8月期以来の黒字化を達成いたしました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、退職給付制度改定益など特別利益3億50百万円を計上いたしました結果、5億5百万円（前年同期は3億61百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失、8億66百万円の改善）となりました。

当社グループにおける事業セグメントの概要は次のとおりです。

[婦人下着及びその関連事業]

婦人下着及びその関連事業セグメントにおいては、お客様のニーズを捉えた製品・商品の提供に取り組む中、体型補整下着の主力シリーズ「カリーユ」の後継となる『カーヴィシヤス』を平成29年11月24日より予約販売を開始いたしました。『カーヴィシヤス』は、体型補整力など機能性はそのままに、より着用のしやすさ、着心地を追求した製品へと進化させており、多くのお客様よりご好評をいただき、主力シリーズとして順調な立ち上がりとなりました。さらに、新たな収益商品づくりを目指し、コスメやサプリメントなど、新たなシリーズ商品の開発、提供に取り組みました結果、いずれも好調な滑り出しとなりました。

一方、集客力の強化においては、新規のお客様の獲得を目指して強化しておりますメディアマーケティング戦略においては、平成29年10月下旬よりテレビコマーシャルの提供を一部地域から試験的にスタートさせ、先行して取り組んでおりますインフォマーシャル（商品の特性を詳しくご紹介する番組形式のテレビコマーシャル）やWeb広告などとの連携による集客実績が伸びるなど、新たな集客モデルとしての構築を着実に進めつつあります。

さらに、“カムバック特典”の新設などの購入特典の拡充、“ECOキャンペーン”（古くなった下着を割引券と交換）や平成29年6月より開始したマルコクレジット（自社割賦／お客様と当社が直接、割賦販売契約を締結）を活用した“購入サポート”など、既存のお客様の活性化と新規のお客様の獲得を促進する諸施策を実施いたしました。

以上の結果、売上高102億78百万円、営業利益1億89百万円となりました。

[その他]

RIZAPグループ企業とのシナジー効果創出を本格的に進めるべく、平成29年6月2日公表のとおりRIZAPグループ(株)と当社の両社取締役会において協業方針を決定し本格的な活動を推進する中、第一弾としてRIZAPグループ(株)より当社の55万人超の顧客基盤、全国の直営店舗と営業社員による営業網を活用した同社グループ企業への集客支援業務を受託いたしました。

以上の結果、売上高2億50百万円、営業利益2億3百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は134億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ59億35百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加、売掛金の増加及びたな卸資産の増加の結果によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は48億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億67百万円増加いたしました。これは主に、退職給付に係る資産の増加、リース資産の増加及び建物及び構築物の減少の結果によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は27億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億39百万円減少いたしました。これは主に、未払金の増加、未払法人税等の増加、買掛金の減少及び未払消費税の減少の結果によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は5億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ40百万円増加いたしました。これは主に、リース債務の増加、繰延税金負債の増加及び退職給付に係る負債の減少の結果によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は148億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ68億2百万円増加いたしました。これは主に、資本金の増加、資本剰余金の増加及び自己株式の減少の結果によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年7月31日の「業績予想及び配当予想（復配）」に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,507,328	9,715,251
売掛金	910,489	2,624,148
商品及び製品	788,558	808,982
貯蔵品	74,159	177,119
その他	216,660	209,102
貸倒引当金	△21	△102,281
流動資産合計	7,497,174	13,432,323
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	758,494	747,718
土地	830,598	830,598
その他(純額)	22,409	312,083
有形固定資産合計	1,611,503	1,890,400
無形固定資産	22,358	44,947
投資その他の資産		
投資有価証券	1,750,000	1,750,000
その他	694,083	1,160,453
貸倒引当金	△2,440	△2,440
投資その他の資産合計	2,441,643	2,908,013
固定資産合計	4,075,505	4,843,361
資産合計	11,572,679	18,275,685
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,399,683	1,028,629
未払法人税等	144,541	211,772
賞与引当金	113,108	49,426
返品調整引当金	14,000	13,000
ポイント引当金	373,000	352,000
資産除去債務	9,797	7,514
株主優待引当金	—	60,874
その他	872,508	1,063,849
流動負債合計	2,926,638	2,787,067
固定負債		
資産除去債務	311,239	308,431
その他	240,308	283,328
固定負債合計	551,547	591,760
負債合計	3,478,185	3,378,828
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,707,729	6,491,360
資本剰余金	3,570,452	6,473,978
利益剰余金	1,327,962	1,833,048
自己株式	△492,673	△22
株主資本合計	8,113,470	14,798,365
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	6,431	6,319
退職給付に係る調整累計額	△25,407	92,172
その他の包括利益累計額合計	△18,976	98,491
純資産合計	8,094,494	14,896,856
負債純資産合計	11,572,679	18,275,685

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	9,277,271	10,528,918
売上原価	4,956,052	5,095,428
売上総利益	4,321,218	5,433,489
返品調整引当金戻入額	17,000	14,000
返品調整引当金繰入額	8,000	13,000
差引売上総利益	4,330,218	5,434,489
販売費及び一般管理費	4,947,693	5,041,030
営業利益又は営業損失(△)	△617,474	393,459
営業外収益		
受取利息	31	736
受取配当金	—	9,819
受取手数料	21,865	20,021
業務受託料	18,000	18,000
その他	13,171	10,624
営業外収益合計	53,068	59,202
営業外費用		
支払利息	536	—
新株発行費	—	32,323
株主優待引当金繰入額	—	60,874
その他	6,583	17,822
営業外費用合計	7,119	111,020
経常利益又は経常損失(△)	△571,526	341,641
特別利益		
固定資産売却益	411,139	—
退職給付制度改定益	—	341,077
その他	—	9,731
特別利益合計	411,139	350,808
特別損失		
減損損失	15,320	891
固定資産除却損	512	3,129
事業構造改善費用	67,823	—
本社移転費用	23,048	—
その他	11,931	2,684
特別損失合計	118,636	6,705
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△279,022	685,744
法人税、住民税及び事業税	83,981	143,478
法人税等調整額	△1,329	37,179
法人税等合計	82,652	180,658
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△361,675	505,086
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△361,675	505,086

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△361,675	505,086
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△3,687	△112
退職給付に係る調整額	161,542	117,579
その他の包括利益合計	157,855	117,467
四半期包括利益	△203,820	622,553
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△203,820	622,553
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年7月31日開催の取締役会決議に基づき、平成29年8月17日を払込期日とする公募による新株式発行及び自己株式の処分並びに平成29年9月14日を払込期日とする第三者割当による新株式発行を実施いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が2,783,631千円、資本剰余金が2,903,525千円増加し、自己株式が492,651千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が6,491,360千円、資本剰余金が6,473,978千円、自己株式が22千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

当社グループは、取締役会における経営資源の配分の意思決定及び業績を評価するための定期的な検討の対象を体型補整を目的とした婦人下着及びその関連事業とし、これらを単一のセグメントとしております。

これは、当社グループの主要製品である体型補整を目的とした婦人下着とその関連商品の市場及び販売方法は同一若しくは密接に関連しているためであります。

従って、報告セグメントについても単一のセグメントとしており、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	四半期連結損益計算書 計上額(注) 2
	婦人下着及び その関連事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	10,278,918	10,278,918	250,000	10,528,918
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	10,278,918	10,278,918	250,000	10,528,918
セグメント利益	189,605	189,605	203,853	393,459

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業活動であり、集客支援等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 補足情報

仕入及び販売の状況

① 仕入実績

区分		当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)		
		金額(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
製品	ファンデーション・ランジェリー (ボディースーツ)	386,882	15.4	117.5
	(ブラジャー・ガードル等)	1,438,085	57.0	108.5
	その他	252,595	10.0	99.0
	小計	2,077,562	82.4	108.8
商品	ボディケア化粧品・下着用洗剤	266,790	10.6	91.2
	健康食品	44,593	1.8	113.4
	その他	132,297	5.2	90.4
	小計	443,682	17.6	92.8
合計		2,521,245	100.0	105.6

(注) 1. 金額は仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

2. 製品のその他は主に、ストッキングとスイムウェアの金額であります。

② 販売実績

1) 地域別販売実績

区分		当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)		
		金額(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
北海道・東北・信越地区		1,410,564	13.4	109.4
関東地区		2,510,232	23.8	105.7
北陸・東海地区		3,050,599	29.0	115.7
近畿地区		1,333,941	12.7	114.4
中国・四国地区		202,398	1.9	117.5
九州・沖縄地区		2,116,667	20.1	107.9
海外地区		6,514	0.1	37.4
合計		10,630,918	101.0	110.5
その他		△102,000	△1.0	30.0
総合計		10,528,918	100.0	113.5

(注) 1. 金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

2. その他は、ポイント引当金繰入額等の金額であります。

2) 品目別販売実績

区分		当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)		
		金額(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
製品	ファンデーション・ランジェリー (ボディスーツ)	1,641,130	15.6	114.5
	(ブラジャー・ガードル等)	6,625,244	62.9	110.7
	その他	755,944	7.2	100.6
	小計	9,022,319	85.7	110.4
商品	ボディケア化粧品・下着用洗剤	1,043,463	9.9	108.9
	健康食品	181,116	1.7	141.2
	その他	384,018	3.7	106.7
	小計	1,608,598	15.3	111.2
合計		10,630,918	101.0	110.5
その他		△102,000	△1.0	30.0
総合計		10,528,918	100.0	113.5

- (注) 1. 金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。
2. 製品のその他は主に、ストッキングとスイムウェアの金額であります。
3. その他は、ポイント引当金繰入額等の金額であります。